

「国立映画アーカイブ開館記念 映画プロデューサー 黒澤満」

『それから』 バリアフリー上映のお知らせ

平素よりお世話になっております。

国立映画アーカイブで2019年1月8日(火)より開催の「国立映画アーカイブ開館記念 映画プロデューサー 黒澤満」(1/8～1/27)におきまして、『それから』(1985年、東映、森田芳光監督)のバリアフリー上映を行います。

昨年の『名もなく貧しく美しく』バリアフリー上映と同様に、【聴覚障害者向けの字幕投影】、【難聴者の聞こえを支援する磁気ループシステム】、【視覚障害者向けの音声ガイド】の3つのシステムを用い、目や耳の不自由な方も、日本映画の名作と一緒に楽しみいただける機会となります。多くの方にお知らせしたく存じますので、ぜひとも周知にご協力賜りますようお願いいたします。

■ 『それから』 バリアフリー上映

聴覚障害者向け字幕投影、磁気ループシステム、視覚障害者向け音声ガイド付き上映

日時：2019年1月26日(土) 1:30pmの回 (1:00pm開場)

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU (2階) [定員310名]

料金：障害者(付添者は原則1名まで)は無料

一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/キャンパスメンバーズは無料



©東映

『それから』(1985年、東映、森田芳光監督)

『家族ゲーム』(1983)などにより新世代の感性を注目され、一線に躍り出た直後の森田芳光が、漱石の映画化に挑んだ作品。「明治もの」未経験の森田のために、黒澤満は要所に経験豊かなスタッフを起用した。原作の精神を忠実に写し取ろうとする一方で、時代考証は必ずしも厳密になされず、森田のイメージの中の明治時代が追求されている。主人公の心象風景を表す幻想的な映像も印象に残る。

磁気ループシステム座席(30席)と音声ガイドラジオ(20台)は、メールまたはFAXによる事前予約制です。詳細は以下の通りです。

メールおよびFAX予約方法

◎磁気ループシステム座席をご希望の方(30席)

※利用をご希望される方は、磁気コイル付補聴器("T"マーク付補聴器)をご持参下さい。

件名：磁気ループ
記入事項：①来場者全員(付添者含む)のお名前と、聴導犬の有無
②磁気ループ希望席数
③返信用連絡先(当日も連絡がとれる電話またはメールアドレス)

◎音声ガイドラジオをご希望の方(20台)

※ご自分のラジオをお使いになる方も事前にご連絡いただければお席をお取りします。ラジオは周波数88.5MHzにあわせてください。

件名：音声ガイド
記入事項：①来場者全員(付添者含む)のお名前と、盲導犬の有無
②ラジオ希望台数
③返信用連絡先(当日も連絡がとれる電話またはメールアドレス)

申込締切：2019年1月11日(金)18日(金) ※締切を延長しました。(1/11更新)

申込先：【メール】assist@nfaj.go.jp 【Fax】03-3561-0830 国立映画アーカイブ上映展示室 宛

本企画HP：<http://www.nfaj.go.jp/exhibition/kurosawa201812/#section1-5>

協力：社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター、Palabra 株式会社